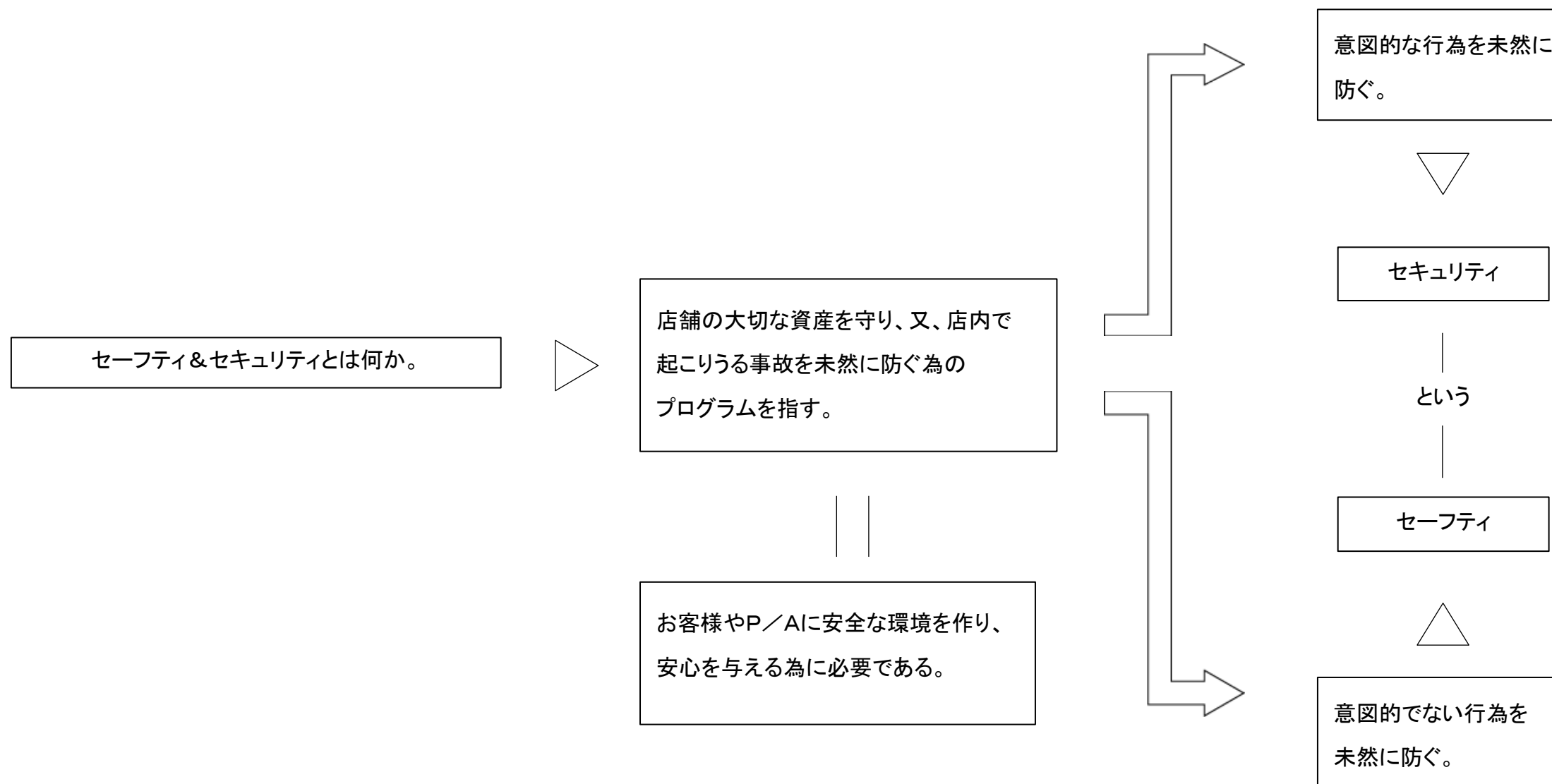


# セーフティ&セキュリティ テキスト



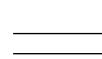
**Leaders are Always in Front**

**「首将、常に全軍の先頭にあり」**



セーフティ&セキュリティ  
- オープン -

大原則



オープン・デিশフト・クローズを問わず、すべての時間帯に渡って全従業員は、お客様と同じ店舗正面出入口を使う。

店舗到着

店舗周辺に不審な人物がいるかどうか、周囲の安全を確認してから、店舗に入る。

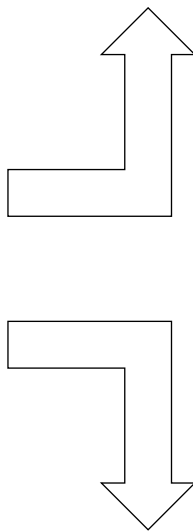
店舗侵入の形跡がない場合



店内に入ったらずちにドアを閉めロックする。



店内の物陰に注意しながら事務所へ行く。



店舗侵入の形跡がある場合



- ①現場をそのまま維持する …… 現場を立入り禁止として、誰にも触れさせないようにする。
- ②警察に通報する・指示に従う。
- ③上司に連絡する・指示に従う。
- ④警察への協力 …… 十分協力して、証言を行わなければならない。

セーフティ&セキュリティ  
— 営業時間中 —  
1

店舗の内外を問わず、不審な人物に注意し、何が起きているのか、いつも注意を払う必要がある。



店内では、暗い所、少し離れていて死角となるような場所、又大きな物の物陰に隠れているかもしれない。特にトイレは、十分にチェックする必要がある。

店内では、長い間うろうろしている人や、キョロキョロしている人、又、店内の様子をうかがっているような人には十分に注意を払う必要がある。

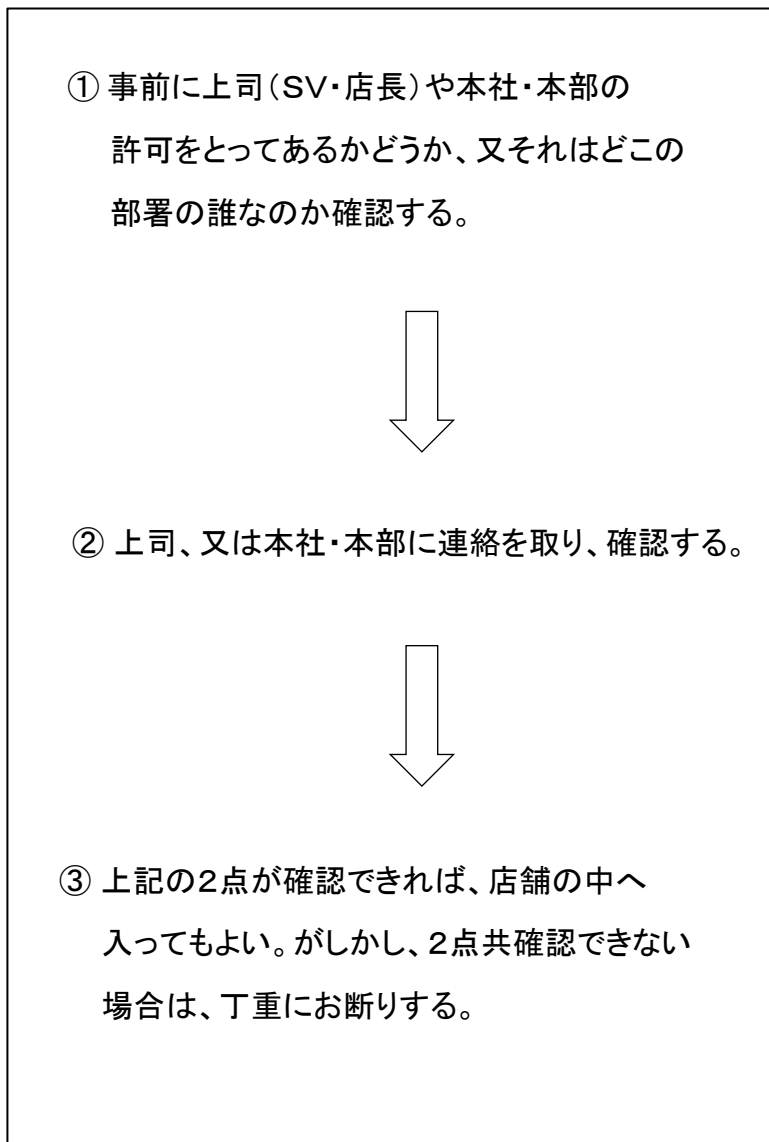


不審な人物を発見した場合は、  
1. 注意して監視をする。  
2. 車の場合は、車の形式、ナンバーを控える。  
3. 長くいるような場合は、警察へ連絡する。

未然に防いだり、発見する為には  
1. P/Aによる客席や売場の定期的なクレンリネスの実施。(15分に1回)  
2. トラベル・パスの実施(30分に1回)が必要である。

セーフティ&セキュリティ  
— 営業時間中 —  
2

自分の会社関係以外の人から、店舗事務所、  
倉庫等、直接お客様とは関係のない場所へ  
入りたいという要望があった場合は、



どのような人物ならば、  
店舗内に入れてもよいか？

セーフティ&セキュリティ  
— 営業時間中 —  
3

自分の会社関係以外の人で、  
店舗事務所、倉庫等へ入れても  
よい場合は、

1

事前に上司(SV・店長)や本社・本部の  
許可を受けた人。

2

ストア・ツアー等の場合は、許可を受けた  
従業員に引率されている場合は、認められる。

この場合に限定する。